

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について（口頭要請）

令和5年5月中旬頃から、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークが横田飛行場に一時展開されているところですが、開始から1年以上が経過しているにも関わらず、一時展開が継続しています。

本件は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化し、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要となっている中、行われるとのこと。平成29年度以降、横田飛行場への一時展開は6回目であり、令和元年度以降5年連続かつ、今回の展開が1年以上継続していることから、横田飛行場への常駐化を含む今後の運用が強く懸念されます。

ついては、次のとおり要請します。

- 1 展開の終了時期、周辺住民に影響を与える事項及びグローバル・ホークに関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
- 2 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。

令和6年5月28日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東 京 都 知 事	小 池	百 合 子
副会長	福 生 市 長	加 藤	育 男
	立 川 市 長	酒 井	大 史
	昭 島 市 長	白 井	伸 介
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	羽 村 市 長	橋 本	弘 山
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之